

上越映画鑑賞会 最終例会

ほんとうに大切なものは
目に見えない

昭和初期の新潟——

盲目の少女 ふみ子が見た海は きらきらと輝いて
運命を切り開く勇気をくれた

上越映画鑑賞会が全面協力した映画

ふみ子の海

11月
10日
(日)

高田
世界館

上越市本町6丁目
4-21

上映時間

●13:00~
●16:00~
2回上映

各上映後監督挨拶あり

鈴木理子(子役) / 藤谷美紀 / 遠野風子 / 遠藤憲一 / 山田吾一 / 高松あい / 尾崎千瑛(子役)
あおい輝彦(友情出演) / 中村敦夫(友情出演) / 宮路オサム(友情出演) / 平田 満 / 水野久美 / 高橋長英 / 高橋恵子
監督:近藤明男 原作:市川信夫「ふみ子の海」理論社刊 脚本:篠原高志 音楽:沢田 完 エグゼクティブプロデューサー:本間信行

推奨:新潟県 後援:上越市 / 柏崎市 / 東京女子大学同窓会 推進:青少年映画審議会 推薦:新潟県教育委員会
推薦:社団法人青少年育成国民会議 / 全国盲学校長会 / 社会福祉法人東京ヘルンケラー協会 / 社会福祉法人日本点字図書館
社会福祉法人日本ヘルンケラー財団 / 社会福祉法人日本盲人会連合 / 社会福祉法人日本ライオンハウス(視覚障害者総合福祉施設) / 財団法人日本YMCA同盟 / 日本映画ペンクラブ
支援:多文化庁 製作:C.A.L. 2006年 日本 105分 カラー VHS/DVD/Blu-ray Disc ©2007 C.A.L.

一般 / 前売:1,300円(高校生以下1,000円)

当日:1,500円(高校生以下1,200円)

チケット
扱い

春陽館書店、高田文化協会、喫茶ブー横丁、高田世界館、妙高文化ホール他

お問合せ先

TEL.025-525-6990

080-5042-6889(事務局/ブー横丁)

地元作家原作

原作／市川信夫

「ふみ子の海」は、新潟県高田盲学校で教鞭をとり生涯を視覚障害者教育に捧げた粟津キヨさんの生涯を取り上げ同名小説「ふみ子の海」(市川信夫原作。理論社刊。)を原作に、その少女時代を映画化したものです。

06年3月、おりからの豪雪に見舞われた上越市、柏崎市、長岡市をロケ地とし、地元官民上げての支援のもとに06年末に完成、07年全国公開に先駆けて地元新潟県で公開されました。

映画完成後、各地で実施された試写会にご参加いただいた方々の大きな反響を得て、地新潟日报社、BSN新潟放送、新潟映研3社と製作・配給にあたる(株)CAL、シネマ・ディストを事務局に映画「ふみ子の海」新潟県上映推進委員会が構成され、新潟県内での上映推進がはかられました。

撮影当時柏崎市を中心として中越地域に大きな被害を与えた中越沖地震は、この上映の取り組みにも大きな影響を与えましたが、被災地域をはじめ県内各地から寄せられた「こういう時だからこそこの映画の上映は励ましになる」の声に支えられ、取り組みが再開されました。上越市では、上越映画鑑賞会の会員が多数エキストラとして参加し、完成した鑑賞会の記念碑的映画です。



■右は原作者の市川信夫氏。左は女優高橋恵子



■上越市大町五丁目旧今井染物屋での撮影風景

<会員制・自主上映団体>

上越映画鑑賞会最終例会

高田世界館

上越市本町六丁目4-21

お問合せ先

TEL.025-525-6990

080-5042-6889(事務局/ブー横丁)

11月10日(日) 上映/13:00~、16:00~
(2回上映) 後援/上越市

一般/前売:1,300円(高校生以下1,000円)

当日:1,500円(高校生以下1,200円)

チケット
扱い

春陽館書店、高田文化協会、喫茶ブー横丁、高田世界館、妙高文化ホール他